



平成27年10月28日

各 位

会 社 名 燦ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 古内 耕太郎
 (コード番号 9628 東証第一部)
 問合せ先 常務執行役員経理部長 大井 信三
 (TEL 06-6226-1716)

特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、当社および一部子会社が加入する厚生年金基金の解散に伴う特別損失の計上を予定するとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月13日に公表した平成28年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成28年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,400	百万円 490	百万円 490	百万円 240	円 銭 42 73
今回修正予想 (B)	8,890	760	760	430	76 56
増減額 (B-A)	490	270	270	190	—
増減率 (%)	5.8%	55.1%	55.1%	79.2%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	8,925	898	906	510	90 86

2. 平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 18,500	百万円 1,590	百万円 1,590	百万円 930	円 銭 165 58
今回修正予想 (B)	18,990	1,630	1,630	430	76 56
増減額 (B-A)	490	40	40	△500	—
増減率 (%)	2.6%	2.5%	2.5%	△53.8%	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	18,437	2,018	2,021	985	175 42

3. 修正の理由

【第2四半期連結累計期間】

第2四半期の営業収益は、厳しい競合環境にもかかわらず予想比増収となりました。その主たる要因は、葬祭事業の中核会社である(株)公益社において、大規模葬儀の施行件数および単価が当初予想を上回ったことによるものです。また、費用については、広告宣伝費等の発生が一部第3四半期以降へ繰り延べとなりました。

これらの要素を営業収益、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益に反映させ、前回予想を上方修正しました。

【通期】

第3四半期以降の葬祭事業については、厳しい競合状況が継続すると見込んでいますが、当初予想通りに推移するものと考えております。したがって、第2四半期連結累計期間の業績予想の上方修正額から経費の繰り延べを調整し、そのまま通期にスライドさせました。

それ以外の要素として、前回発表の業績予想には織り込むことが困難であった厚生年金基金の解散に伴う負担額を、概算8億円と予想して今回の通期業績予想に織り込みました。

これらに伴い、親会社株主に帰属する当期純利益の予想額は、前回予想額から5億円減少して4億30百万円となります。

なお、配当予想につきましては、第2四半期末、期末ともに、当初予想（平成27年5月13日発表）から変更はありません。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

4. 特別損失の内容

当社および一部子会社が加入する厚生年金基金では、解散認可申請に必要な事業主および加入員等の同意書の取得を前提として、平成27年12月に解散の意思決定および特例解散の認可申請を行う予定です。

当該厚生年金基金の解散に伴う負担額を概算8億円と予想し、第3四半期に特別損失の計上を予定しております。

ただし現時点では、基金の資産および負債勘定の金額が極めて流動的な状況にあるため、解散に伴う実際の負担額は、予想数値と大きく異なる可能性があります。

以 上